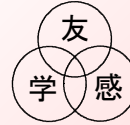


茂原市立茂原中学校

発行者 校長 渡邊 健二
電話 0475-22-2320

【学校教育目標】「未来を展望する創造的な知性と、たくましい体力をもった、心豊かな生徒の育成」

【めざす学校像】○ 友だち同士、心の通う楽しい学校
チーム茂中 ○ わかる喜び、学びの学校
○ 感動あふれる、生き生きとした学校



輝く瞳・見つめる未来

文武両道

第78回開校記念式典を開催しました

※式辞より

6月1日が開校記念日と定められたのは、昭和23年に校舎が完成した落成式の日を開校記念日と定めたことによります。茂原中学校の歴史について改めてご紹介いたします。

校歌の作曲は「春よ来い」で知られる作曲家の弘田龍太郎氏によるものです。作詞は、日本を代表する詩人として多くの詩集を残されている白鳥省吾氏です。白鳥氏は、第二次世界大戦中、東浪見に疎開し、その後10年以上お住まいになりました。御息様が茂原中学校に通学し、ご自身がPTA役員をされていたときに、校歌を制定する話があり、依頼を受けたそうです。白鳥氏は、御出身の宮城県で113校、千葉県で69校、東北・北陸・関東、そして、遠く福岡県まで併せて235校もの校歌を作詞しています。近隣では、長生高校、茂原高校、長生中学校、西小学校の作詞にも携わっています。その中でも茂原中学校の校歌は最も気に入ったものの一つであったとのことでした。

続いて、校章ですが、昭和22年、茂原中学校がまだ茂原小学校の敷地内にあったときに制定されました。校章を考案したのは、当時、美術を担当し、退職後に「躍進像」も制作された柳川清一郎氏です。

校章の外側の赤い炎は、情熱を意味し発展を象徴しています。内側の青い楕は理性を意味し平和

を象徴しています。全体で、常に強く、正しく、清らかにあらんとする、茂原中学校の理想が象徴されています。制服上着のエンブレムは、平成6年に現行の制服が決めた際に、生徒からの公募で作られたものです。校章の盾の形をもとにして、イニシャルの「m」と創立の年である「1947」を中心に、赤いリボンは力と勇気、取り囲む月桂樹の葉は栄光を表しています。

学校行事にお見えになる茂原中学校出身の御来賓、保護者の方々は歌詞を見ないで校歌を歌ってくださいます。卒業して何十年が過ぎても母校としての誇りを持ってくださっています。

茂原中学校の皆さんが、この茂原中学校を愛し、茂原中学校で学んでいることに誇りを持ち、新たな茂原中学校を築いていくことを期待しています。

歴史と伝統を引き継ぎ、本校で学んだみなさんが、いつまでも卒業生としての誇りを持ち、共に支え合える茂原中学校をめざし、今後とも、職員一同精一杯努力してまいります。地域・保護者のみなさまの温かい御支援と御協力を賜りますようお願いいたします。

なお、生徒代表として第1学年 渡辺 真央さん、第2学年 太田 唯愛さん、第3学年 草野 仁宏さんから作文発表がありました。時代が変わっても変わらぬ想いに触れることができた貴重な体験でした。

(文責 渡邊 健二)